

2 2015年の神奈川

「時代の変化と今後の見通し」で述べたように、国際化や情報化、地域経済の低迷や少子・高齢社会の到来など、今日の社会は、大きな時代の変動期にあります。そして、そうした様々な変化の影響は、神奈川にいち早く押し寄せてきます。

例えば、県民生活における健康や福祉、地震、災害、治安、食、雇用などに対する「不安」や、地域における経済の低迷、環境の悪化、青少年問題、コミュニティの弱体化など、私たちの神奈川は、多くの課題に直面しており、大変厳しい社会経済環境にあります。

こうした中で、県民の皆さんや地域が抱える様々な課題を解決しつつ、神奈川の明るい未来を築くための将来方向を明らかにし、その実現に向けた取組みが求められています。

幸い、神奈川は、自然、産業、歴史・文化、人材など、大変豊かな潜在力に恵まれている地域であり、これまでも、果敢なチャレンジ精神をもって、いつも新しい時代を切り拓いてきました。

「神奈川力構想・プロジェクト51」では、こうした神奈川の持てる多彩な力を再生・創造し、様々な課題の解決にあたりとともに、安全・安心が確保された中で、県民の皆さんが、生きがいのある心豊かな暮らしを送ることができ、また、その基盤となる地域経済をはじめとした、地域の活性化が図られるよう、2015年の神奈川を展望しつつ、

「活力ある地域社会・生きがいのある暮らしの創造」

をメインテーマに、様々な政策課題に取り組んでいきます。

未来を語ることから始めよう！

2015年の神奈川をこんなすがたにしていきたい

でも、それは、県の取組みだけでは実現することができません

県民の皆さんの協力が必要です

今よりもっと魅力ある神奈川にするために

一緒に力を合わせていただけませんか



健康で、生き生きとくらせる福祉・医療のしくみづくり

本格的な少子・高齢社会を迎え、安心して生き生きくらせる健やかな福祉社会が求められています。特に、神奈川のように高度成長期に人口が急増した地域では、今後、短期間のうちに高齢化が進むとともに、少子化や核家族化、価値観の多様化などに伴って、保健・医療・福祉にかかわる様々なニーズの増大が予想されます。

また、必要なときに身近な地域の中で、自分にふさわしい保健・医療・福祉サービスを利用できることが必要です。

さらに、自らの選択でサービスを利用し、可能な限り自立した質の高いライフスタイルが確立されるよう、きめ細かなサービスの実現と、共に支え合う地域コミュニティづくりが求められています。

県民に発信するかながわの取組み

- 生活習慣改善の推進と地域がん医療体制の整備を進めます。
- 急病や事故、感染症などに対する救急医療体制の整備を図ります。
- 福祉サービス拠点施設整備や高度で多様な保健・医療・福祉人材の養成を進めます。
- 障害者や高齢者の地域での自立を支援する福祉サービスの充実を図ります。
- 公共空間のバリアフリー化などにより、福祉的配慮のされたまちづくりを進めます。

◆◆◆ 2015年の私たちのかながわのすがた ◆◆◆

(健康づくりについては…)

がんをはじめとした生活習慣病対策が進んでおり、健康に関する意識が高まることで、県民一人ひとりが、ライフスタイルに合った健康づくりに取り組み、生き生きとくらしています。



(医療体制や疾病対策については…)

身近なかかりつけ医から高度専門的な医療機関まで、地域における医療や救急医療体制の整備が図られ、乳幼児から高齢者まで、迅速で適切な医療を受けられます。

(高齢者や障害者への福祉サービスは…)

介護保険制度や支援費制度が定着し、高齢者や障害のある人たちも、それぞれの状況に応じて、自分に合った福祉サービスを利用しながら、住み慣れた地域社会において安心して自立した生活を送ることができます。



(保健・医療・福祉を支える人材は…)

保健・医療・福祉サービスを支える、質の高い人材が次々と育ち、また、県民ニーズの多様化、高度化、医療技術の進歩に応じた知識や技術を身につけた人材が、地域の様々な場で活躍しています。

(福祉サービスの新たな展開は…)

福祉サービスを評価するしくみができるとともに、多様な福祉サービスの提供主体や、ボランティアとして福祉活動に参加する人が増え、地域において、きめ細かいサービスが提供されるようになっていきます。

(だれもが住みやすいまちづくりは…)

歩道の段差の解消や駅舎へのエレベーターの設置など、まちのバリアフリー化が進み、障害のある人や高齢者など、だれもが自由に移動し、積極的に社会参加できるようになっています。

安全で安心してくらしが確保された地域づくり

都市化、国際化が進展する中で、悪質重要犯罪、来日外国人犯罪などとともに、身近な犯罪が高い割合を示しています。また、交通事故も依然として多発している状況にあります。

一方、食の安全に対する信頼を揺るがす事件が相次ぐなど、その安全性が問われているほか、新しい商品やサービスの登場、流通域の拡大や取引の多様化・複雑化の中で、消費者トラブルも増加し続けており、こうした日常生活の安全・安心の確保が急務となっています。

また、高度に集積し、ネットワーク化された都市の災害に対する脆弱さが危惧されるほか、米軍基地に起因する問題に対し、周辺住民の安全や生活環境を守ることが必要です。

このような県民の不安に応え、安心してくらしをさせる社会づくりが求められています。

県民に発信するかながわの取組み

- 身近な犯罪や交通事故がなく、安心してくらしをさせる地域づくりを進めます。
- 生産者、事業者、消費者が一体となった安全で安心な食の確保をめざします。
- 消費者被害の未然防止と救済に向けた取組みを進めます。
- 地域防災力の向上や広域連携体制の充実など、大規模地震に備えた対応力の強化を図ります。
- 基地の整理・縮小・返還に向けた取組みや周辺住民の良好な生活環境の確保に努めます。

◆◆◆ 2015年の私たちのかながわのすがた ◆◆◆

(防犯対策は…)

県民一人ひとりの防犯意識の高まりや地域と警察などが一体となった防犯の取組み、地域コミュニティの再生に向けた取組みなどにより、安全で安心してくらしをさせるまちになっています。



(交通安全対策は…)

県民一人ひとりの交通安全意識の高まりや交通安全施設の整備、交通安全教育、交通ボランティアとの連携などにより、安全で円滑な交通が確保され、安心してまちを歩き来することができます。

(食の安全は…)

食の安全について、生産から消費まで、生産者、事業者、消費者が一体となって確保するしくみが定着することで、県民一人ひとりが安心して食生活を送ることができるようになってきました。



(地震・防災対策は…)

住民に身近な市町村の防災対策が進むなど、地域の防災力が向上するとともに、他の都県などとの広域連携体制が充実し、災害に強いまちづくりが進んでいます。

(消費生活を取り巻く環境は…)

消費生活に関する相談体制や悪質な事業者を指導するための広域的なネットワークが整備されるなど、消費者被害の未然防止や救済が図られ、安全で安心な消費生活が確保されています。

(基地対策は…)

神奈川の米軍基地の整理・縮小・返還が進む中で、航空機騒音の問題など、県民の生活に支障を及ぼしていた様々な基地問題も、一つひとつ解決に向かっていきます。

世界にはばたく、未来の人づくり・子育て環境の整備

少子化の急速な進行や家族の形態の変化、都市化の進展などの中で、子育ての不安や悩みが高まるとともに、児童虐待や子どもの心の問題の深刻化、家族や地域の教育力の低下が問題となっています。

一方、社会経済活動のグローバル化や情報化が進展する中で、個性豊かな自立した人材の育成が求められています。

こうした中で、子育てを社会全体で支援していくための取組みを強めるとともに、小・中・高等学校を通じた一人ひとりの個性に応じた教育の充実や、学校、家庭、地域などが協働・連携した、青少年の健全育成などに、きめ細かく取り組むことが求められています。

県民に発信するかながわの取組み

- 地域の子育て相談や保育施設整備支援、多様な保育サービスの充実などを図ります。
- 児童虐待の早期発見・対応のための体制づくりや専門的ケアの充実に努めます。
- 養護学校の空白地域解消など環境整備を進めます。
- 生徒の多様な興味・関心などに応じた特色ある高校づくりを進め、個性を伸ばす教育を展開するとともに、情報化の進展に対応した教育を推進します。
- 青少年の心の悩みに応える相談体制や地域の支援体制の充実を図ります。
- 児童・生徒の社会奉仕やボランティア活動など、様々な体験活動の促進に努めます。
- 小・中・高等学校を通じた英語による実践的コミュニケーション能力の育成を図ります。
- 県民による国際交流・協力活動や民間などと連携した国際人材の育成を進めます。

◆◆◆ 2015年の私たちのかながわのすがた ◆◆◆

(地域の子育て環境は…)

子どもを生み育てている家庭を地域で支えるしくみづくりが進められ、子どもが社会の一員として人権を守られながら健やかに成長することができます。



(仕事と子育ての両立は…)

仕事と子育ての両立を支援する多様な保育サービスが充実し、働きながら子育てをするための職場環境が整備されており、安心して子どもを生み育てていくことができます。

(子どもの個性を伸ばす教育は…)

それぞれの学校が特色を持ち、一人ひとりが基礎・基本を確実に身につけ、個性を伸ばすためのきめ細かな指導が行われています。障害のある子どもたちも安心して通学し、学習できる場ができています。子どもたちは、主体性や創造性を培い、未来に夢を持つことで、様々な困難を克服し、心豊かで健やかに育っています。



(情報化や国際化に対応した教育は…)

IT(情報技術)を活用した教育や生きた語学教育の強化などが進められています。また、地域と連携した教育活動や異文化交流など様々な体験活動にも支えられ、自分たちの郷土に誇りを持ち、教養豊かで国際性に富んだ若い世代が社会に輩出しています。

(国際的に行動できる人材育成は…)

人やもの、情報などの国際的な相互依存関係がさらに深まり、アジアをはじめとする様々な国や地域の人々との交流や協力などを通じて、国際社会に積極的にかかわることができる国際感覚豊かな人が増えています。

創造的で元気な産業の育成、多様な働く機会の創出

神奈川の地域経済は、廃業率が開業率を上回っているほか、中国など新興工業国の台頭により国際的な競争が激化する中で生産拠点の海外移転が増加するなど、厳しい状況にあります。

このような中で、県産業の将来を担う新規成長分野の産業や神奈川の特性を生かした高付加価値型産業の創出、中小企業の経営革新・技術開発への支援、海外との経済交流を通じた新たなビジネスチャンスの創出、魅力ある商店・商店街づくりが求められています。

また、地域の活性化や人々の心豊かな生活の実現のために、これからの成長産業のひとつとして期待されている観光の振興が求められています。

一方、厳しい雇用情勢の下、雇用のミスマッチが課題とされる中高年齢者や経済の影響を特に受けやすい障害者、失業率が高い水準にある若年者への就職支援のほか、新たな成長産業において活躍できる人材育成も求められています。

農林水産業は、地場農産物へのニーズの高まりの中で、都市住民と協働で多様な担い手の育成・確保を図り、新鮮な食料の提供や環境の保全など様々な役割を果たしながら、地域に密着した産業としての発展が求められています。

県民に発信するかながわの取組み

- 創業者の発掘・育成をはじめ、産学公の連携による新たな成長産業の振興、中小企業の経営革新のためのものづくり支援、海外との経済交流による国際化支援及び企業誘致の促進などを通じて産業活動の活性化を図ります。
- 魅力ある商店・商店街づくりやコミュニティビジネスの創業支援を行います。
- 若年者をはじめ、すべての人々に対する雇用対策や多様な職業能力開発機会の提供に努めます。
- 体験・学習型観光や県内産品の販路拡大など新しい「かながわツーリズム」を進めます。
- 地産地消を推進する流通販売体制の充実など、新たな農林水産業の振興を図ります。

◆◆◆ 2015年の私たちのかながわのすがた ◆◆◆



(新技術・新産業の創出は…)

神奈川に集積している大学や研究機関、地域企業との産学公の連携が進み、優れた研究成果に基づいた、ロボット、IT（情報技術）、バイオ、環境など、様々な分野の新技術・新製品が開発され、多くのベンチャー企業も生まれています。その中から、世界に発信するオンリーワン企業も育っています。

(地域産業は…)

地域企業やNPOなどとの連携によって、県民の多様なライフスタイルや高齢者の生活ニーズなどに合わせた新たな製品やサービスが創出されるとともに、地域の特性に応じた新たな産業が育っています。

(アジアなどとの経済交流は…)

県内の中小企業の国際化が進み、ビジネスチャンスが広がるとともに、外国企業が進出しやすい環境が整備され、海外からの直接投資が容易になっています。



(能力開発・雇用確保は…)

職業能力開発のしくみが充実し、多様な能力開発の機会が提供されています。また、多様な労働形態や相談窓口が整備され、若者から高齢者、障害のある人など、それぞれが自らの能力や個性を生かして生き生きと働いています。

(観光振興は…)

神奈川の自然、歴史や各地域に根づいた文化などの魅力が改めて見直され、地域ぐるみでその魅力を高める「かながわツーリズム」の取組みが進められており、海外や近郊から多くの人々が神奈川を訪れるようになっています。

(農林水産業の振興は…)

神奈川の農林水産業は、生産者の顔が見える産地として活性化するとともに、県民にうるおいや、やすらぎを与えるなど様々な機能を発揮しています。人々は、新鮮で安全な農林水産物を購入したり、生産者と接しながら自ら土を耕したりしています。

地球環境保全や循環型社会の実現に向けた取組みの推進

今日の環境問題は、産業活動だけでなく、廃棄物や自動車交通公害といった人々の日常生活や都市活動の中で発生するようになっており、それが地域環境だけでなく地球温暖化やオゾン層の破壊といった地球規模での環境悪化の要因となっています。

これらの問題を解決し、良好な環境を将来の世代に引き継ぐために、省資源化、減量化、リサイクル、省エネルギーあるいは新エネルギーの利用などの様々な取組みが始まっていますが、県民、NPO、企業、行政などが協働・連携し、積極的にこれらに対応していくことが求められています。

県民に発信するかながわの取組み

- 学校における環境教育や地域での体験型環境教育の充実を図ります。
- 地球温暖化防止に向けた普及・啓発活動の浸透を図るとともに、主要な温室効果ガスである二酸化炭素を排出する産業や家庭など、部門に応じた抑制施策に取り組みます。
- 自動車から排出される窒素酸化物、粒子状物質の総量削減に向けた取組みを進めます。
- 廃棄物の発生抑制、資源化、適正処理や不法投棄の防止対策を進めます。
- 太陽光発電やバイオマスエネルギーなど新エネルギーの導入促進を図ります。
- 生活排水や産業活動による水質汚濁などの防止対策を進め、水環境保全を図ります。

◆◆◆ 2015年の私たちのかながわのすがた ◆◆◆

(環境に対する考え方は…)

学校、家庭や地域、NPOなどと協働・連携した環境教育が活発に行われています。県民も企業も常に環境を大切にしている意識を持ち、環境に配慮した事業やくらしのスタイルを定着させています。



(大気汚染対策は…)

空気を汚さない自動車や新しい交通システムの普及などによって、大気中に排出される窒素酸化物などが少なくなっています。都市部の空気がきれいになり、健康でくらしやすい生活環境になっています。

(循環型社会づくりは…)

よいものを長く大事に使うライフスタイルが定着し、リサイクルしやすい製品など環境に配慮した「ものづくり」や「サービスの提供」が進み、自分たちの住む地域で出たゴミは、できる限りその地域の中で再利用や処理されるようになっています。



(新エネルギーの利用は…)

太陽光発電やバイオマスエネルギーなど地球にやさしい新エネルギーの利用が進み、県民に身近なエネルギーとなっています。また、企業や家庭の省エネルギーの取組みも進み、地球環境の保全に貢献しています。

(水質汚濁への対応は…)

下水処理施設などの整備や工場の産業排水対策などが徹底されるとともに、家庭では油や汚水の排出をできるだけ抑え、海や川の水を汚さない工夫をしています。

多彩なライフスタイルに対応した共生社会づくり

ライフスタイルの多様化や個性化が進む中で、県民の多くは「心の豊かさ」や生涯にわたって「生きがい」のある生活を望んでいます。そうした中、文化芸術活動、学習活動、スポーツなどを楽しむ機会や場の充実を図り、個性や創造性が尊重される地域社会の形成が求められています。

また、一人ひとりの人権が尊重され、国籍、民族、文化、性別、世代や障害のあるなしなどにとらわれることのない共生社会の実現も求められています。

神奈川では多彩な人材が活躍し、保健・福祉や環境、教育、国際協力など、様々な分野においてNPOやボランティアによるボランティア活動が活発であり、地域の課題解決にも重要な役割を果たすようになってきました。こうした中、NPOなどと行政が対等な立場で協働・連携を進めることで、県民生活を一層豊かにし、安定的で活力のある社会を構築していくことが期待されています。

行政は一層の透明性の向上や個人情報保護に努め、広く開かれた参加型の県政を推進するとともに、県民のくらしの利便性向上のためにIT(情報技術)化の進展に対応した取組みを進めていく必要があります。その際、セキュリティ対策などへの対応も大切です。

県民に発信するかながわの取組み

- ボランティア活動への支援やNPOなどとの協働・連携を進めます。
- 生涯学習の振興や文化芸術への支援、生涯スポーツ社会の実現に向けた取組みを進めます。
- 外国籍県民との共生を図るための県民意識の醸成や生活支援の充実に努めます。
- 男女共同参画社会の実現に向けた取組みを進めます。
- 県民が安心して利用できる電子自治体の推進に取り組みます。

◆◆◆ 2015年の私たちのかながわのすがた ◆◆◆

(NPOやボランティアの活動は…)

県民一人ひとりが多様な価値観や個性を生かしたライフスタイルを楽しんでいます。その中で高齢者や会社員など、幅広い人々がNPOやボランティアの活動に参加し、地域をよりよくする原動力になっています。



(生涯を通じた学習や文化芸術、スポーツとのかかわりは…)

生涯を通じた学習や文化芸術、スポーツに親しむ環境整備が進んでいます。学びたいことを好きなときに学び、身近な場で文化芸術活動を行い、自分にあったスタイルでスポーツを楽しみ、さらには成果を地域活動に生かすなど、生き生きと生活する人が増えています。

(外国籍県民とのかかわりは…)

外国籍県民の意見が地域社会づくりに反映されており、より生活しやすい環境になっています。また、お互いの文化を学ぶ機会が増えて、人々の国際理解が進み、地域社会において多様な文化が尊重されています。



(男女共同参画は…)

職場や家庭、地域などで、男女が共に個性と能力を発揮できるようになっています。また、配偶者からの暴力やセクシュアル・ハラスメントなどを許さない社会づくりが進んでいます。

(行政の情報化は…)

インターネットを通じて行政情報を得たり、県や市町村の行政サービスが受けられるようになるなど、県民のくらしの利便性が向上するとともに、セキュリティ対策や情報バリアフリーも進められ、利用したい人が安心して使えるようになっていきます。

県民一人ひとりが、自らの地域を誇れる県土づくり

大都市周辺など利便性の高い地域に人口が集中する傾向が強まる中で、自立した地域を形成するため、地域の個性や魅力を生かした特色ある地域づくりが求められています。

神奈川では、これまで人口増加に伴う都市化の進展により、都市の貴重なみどりの保全など良好な都市環境を確保することが課題となっていました。

人口がピークを迎え、本格的な少子・高齢社会の到来が予測される中で、都市は、これまでの成長・拡大からうるおいやすらぎなどが重視されるようになっており、県民の多様な価値観やライフスタイルに配慮しつつ、その魅力を高めていくことが大切になっています。

また、人にやさしく自然環境に配慮した災害に強い県土づくりが求められています。

県民に発信するかながわの取組み

- 京浜臨海部では、産業活性化と雇用の創出を図り、羽田空港の再拡張・国際化を踏まえた新しいまちづくりを進めます。
- 横須賀・三浦地域では、多様な産業基盤や豊かな自然、文化遺産を生かした地域づくりを進めます。
- 県央・湘南地域では、自動車専用道路や公共交通機関の整備など、交流連携を支える交通ネットワークの形成や、環境と共生する都市づくりを進めます。
- 県西地域では、富士箱根伊豆交流圏の連携や、道路網、交流拠点などの基盤整備を進め、活力と魅力ある地域づくりに取り組みます。
- 県民と一体となった水源環境の保全や豊かな水源地域づくりを進めます。
- 魅力ある都市公園整備や県民との協働・連携による良好な里山環境の保全を図ります。
- 市町や県民、NPOなどとの協働・連携のもとで、相模湾沿岸地域の自然・歴史・文化などの資源を生かした地域づくりを進めます。

◆◆◆ 2015年の私たちのかながわのすがた ◆◆◆

(交通や情報のネットワーク整備は…)

広域的な交通網や情報ネットワークなどの整備により、人やもの、情報の交流が高まるなかで、都市の機能や自然のやすらぎを享受することができるようになり、それぞれの地域の活性化が進んでいます。



(生活基盤の整備やまちづくりは…)

身近な公園、広場の確保や下水道の整備など、生活基盤整備が進んでいます。また、地元商店街や公民館などを中心に、にぎわいのあるコミュニティづくりも進められ、快適で活気のある生活を楽しむ人が増えています。

(都市のうるおいは…)

市街地の都市公園や貴重な緑地、郊外の里山や鎮守の森など、身近なみどりが大切に守られ、私たちの生活にうるおいを与えると同時に、環境や生物の多様性に貢献しています。



(海や沿岸地域は…)

美しいなぎさを中心とした豊かな自然環境や貴重な歴史・文化、特筆すべき景観などを守るしくみがつくれ、活力と魅力あるまちが形成されるとともに、それらが広く発信されています。

(山々や水源の森林は…)

多様な生物を育む山々や水源の森林が県民の手によって大切に守られることで、私たちにやすらぎを与えると同時に、きれいな水を育んでいます。

自らの地域のことは自らが決める地域社会づくり

個性豊かで活力に満ちた地域社会の形成のためには、自らの地域のことは自らの意思で決定し、その財源、権限と責任も自らが持つという地域主権の確立が求められています。

情報化の進展や成熟社会の到来に伴う県民ニーズの多様化に応えるためにも、価値観や社会制度の変化を踏まえた行政の透明性、公平性、利便性の一層の向上を図るとともに、政策形成の段階から県民とともに県政を進めていくことが必要とされています。

また、神奈川では厳しい財政状況が続いており、行政システム改革を積極的に進めていくことが求められています。

県民に発信するかながわの取組み

- 広域自治体として期待される県の機能・役割を果たすための取組みを進めます。
- 基礎自治体である市町村が、その機能を十分発揮し得るよう支援します。
- 厳しい社会経済環境に対応した、より簡素で効率的な県政の実現を図ります。

◆◆◆ 2015年の私たちのかながわのすがた ◆◆◆

(広域課題への対応は…)

広域的な行政課題に対して、関係する都県や市町村、国と一緒に考えるしくみが確立し、県域を越えた、迅速で効果的な対応が進められています。



(地域主権や県民との協働・連携による県政は…)

自らの地域のことは自らの意思で決定し、責任も持つという地域主権への取組みが進められています。身近な行政サービスは、企画から実施に至るまで市町村が実施し、広域的で専門的な行政サービスを県が担うとともに、県民との協働・連携のもとで、地域が主体的に自らのくらしを創出しています。

(簡素で効率的な行政への取組みは…)

県民や市町村から期待される役割と責任に対して県民が満足できる的確な対応を、より簡素で効率的な組織でできるよう、県行政の重点化やコスト意識の徹底、NPOなどとの協働・連携を通じた取組みが進められています。



(地域における公的サービスは…)

地域における様々な分野でNPOやボランティアによるボランティア活動が活発になっています。また、公的サービスは、行政だけでなく、企業やNPOなどの多様な主体により支えられており、さらにその活躍の場を広げるための協働・連携が進んでいます。